

重度認知症デイケア 小山のおうち

「小山のおうち」の思い

もの忘れは長生きの証です。もの忘れを認め合いながらの仲間作り。

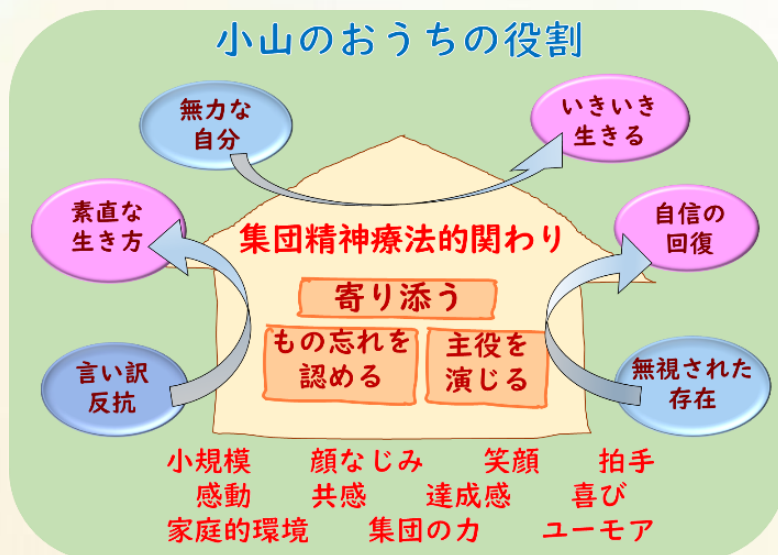
さっきのことを忘れても、その時々を大切に過ごしています。

一人ひとりが主役になる場面を大切に、笑顔が絶えない明るい小山のおうちです。

集団的関わりを中心に、

「もの忘れを認め合う」「主役体験」「here and now（今ここで）」

を大切にプログラムを展開しています。



スタッフ：医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士など

小山のおうちでは、認知症という病気をみるのではなく、認知症の人の苦悩やつらさを受けとめる関わり

や集団生活を通して、ご本人が認知症と向き合う中で孤独感や不安感を解消し、心の安定を図るとともに、

もの忘れを認め合い、再び主役体験をしてもらう時間・空間づくりを大切にし、認知症になっても

その人らしく笑顔で暮らせるような関わりを続けています。